

平成 20 年 5 月 19 日

各 位

株式会社 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

子会社(北洋銀行と札幌銀行)の合併契約締結について

当社の完全子会社である株式会社北洋銀行(取締役頭取 横内龍三)と株式会社札幌銀行(取締役頭取 吉野次郎)は、本日、関係当局の認可および両行株主総会の承認を前提に、両行取締役会において、平成 20 年 10 月 14 日に合併する合併契約について決議し、契約を締結いたしました。

新銀行の経営方針等と併せて、下記のとおりお知らせいたします。

記

・合併契約の要旨等

1. 合併の方法 法手続き上の存続会社は北洋銀行とし、札幌銀行は解散いたします。
2. 商号 株式会社北洋銀行(英文名: North Pacific Bank, Ltd.)
3. 本店所在地 札幌市中央区大通西三丁目 11 番地
4. 代表者 取締役頭取 横内 龍三
5. 資本金 711 億円
6. 総資産 74,283 億円
7. 資金量 65,858 億円
8. 貸出金 48,230 億円
9. 店舗数 232 店舗(うち振込専用支店 1、出張所 12)
10. 合併交付金 合併交付金はありません。
11. 合併の日程 合併契約承認株主総会(両行) 平成 20 年 6 月 25 日(予定)
合併の効力発生日 平成 20 年 10 月 14 日
(注)総資産、資金量、貸出金、店舗数は平成 20 年 3 月末の両行合算計数です。

・合併当事者の概要 (平成 20 年 3 月末現在)

	存続会社	消滅会社
商号	株式会社 北洋銀行	株式会社 札幌銀行
本店所在地	札幌市中央区大通西三丁目 11 番地	札幌市中央区大通西四丁目 1 番地
代表者	取締役頭取 横内 龍三	取締役頭取 吉野 次郎
設立年月日	大正 6 年 8 月	昭和 25 年 12 月
資本金	711 億円	78 億円
発行済株式総数	366,898 千株	71,887 千株
純資産	2,369 億円	425 億円
総資産	64,777 億円	9,506 億円
決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
従業員数	2,960 人	766 人
店舗数	167 店舗 (うち振込専用支店 1、出張所 10)	65 店舗 (うち出張所 2)
株主	(株)札幌北洋ホールディングス(100%)	(株)札幌北洋ホールディングス(100%)

・新銀行の概要

1. 経営ビジョン

【経営理念】

「北海道の洋々たる発展の礎となる銀行」

新銀行の経営理念は、北洋銀行の経営理念を継承します。

【ブランドスローガン】

「人に、時代に、敏感です。北洋銀行」

お客様本位を徹底し、アンテナを高くし、的確かつ柔軟に、スピーディに対応する新・北洋銀行のブランドコンセプトを一言で表した私たちの合言葉です。

2. 取締役および監査役(予定)

取締役会長（代表取締役）	高向 巖	（現 北洋銀行会長）
取締役副会長（代表取締役）	吉野 次郎	（現 札幌銀行頭取）
取締役頭取（代表取締役）	横内 龍三	（現 北洋銀行頭取）
取締役副頭取（代表取締役）	中井 千尋	（現 北洋銀行副頭取）
常務取締役	佐藤 幹	（現 北洋銀行常務取締役）
常務取締役	石井 純二	（現 北洋銀行常務取締役）
常務取締役	柴田 龍	（現 北洋銀行常務取締役）
常務取締役	小澤 敏美	（現 北洋銀行常務取締役）
常務取締役	関川 峰希	（現 札幌銀行専務取締役）
取締役	菊地 豊彦	（現 北洋銀行取締役）
取締役	藤澤 隆司	（現 北洋銀行常務執行役員本店営業部本店長）
取締役	阿部 隆	（現 札幌銀行常務取締役本店営業部本店長）
監査役	吉澤 慶信	（現 北洋銀行監査役）
監査役（非常勤）	大井 康光	（現 北洋銀行監査役）
監査役（非常勤）	田辺 信彦	（現 北洋銀行監査役）

3. 本部組織

合併直後は現行の北洋銀行の本部組織でスタートし、平成 21 年中に新たな本部組織に改編します。

新組織は、フラットで簡素な組織・マーケット別組織・専門性の高い組織を実現し、柔軟かつ機動的な体制とします。

4. 主要施策

【マーケティング戦略】

道内における地域密着型金融の推進、リテール顧客基盤の取引活性化、及び顧客シェア拡大、顧客と一体となった成長を目指します。北洋銀行の顧客基盤に、札幌銀行のリテール分野での強みを活かして合併によるシナジー効果を発揮し、顧客満足の最大化を図ります。

営業力・渉外力を強化し、顧客との関係性を再構築します。

顧客情報整備・システム強化（CRM 態勢整備）を図ります。

営業拠点網の整備・強化を図ります。

【BPR推進】

新銀行における業務プロセスを抜本的に見直し、徹底的な効率運営を図り地銀トップクラスの生産性を目指します。既に活動しているプロジェクトを引き続き継承してまいります。

【人事戦略】

人事処遇体系をより「貢献度に応じた処遇の実現」に向け諸制度の改定を進め、職員の働く意欲を高め、競争力のある戦闘集団の形成を目指します。また、より高度化・専門化するお客様のニーズに応えるために人材育成を強化し組織全体の能力アップを図ります。

【地域貢献】

「北海道のために」をテーマに、北海道が抱えている問題についてその解決に協力してまいります。新銀行で最初に取り組むテーマは、「環境保全」「地域医療」「金融教育」としております。

当社は、社会的責任投資指標として最も権威のある指標のひとつである「FTSE 4 Good Index」銘柄に選出されております。

5. 合併効果

【店舗統合】

合併後、両行の店舗で近接する約 40 カ店について、2 年程度の間店舗統合し、有人チャネルの再整備を行います。

【人員再配置】

本部統合、店舗統合による人員余力を札幌圏などの重点拠点に再配置し、営業力を強化します。

【システム統合】

合併と同時に両行システムも統合します。システム統合後、高度な CRM 戦略推進のため、次期システムの開発に着手します。

【コスト削減】

システム統合、店舗統合等により物件費の削減を図ります。

新銀行の新中期経営計画『新北洋・イノベーションプラン』（平成 20～22 年度）について（札幌北洋グループ新中期経営計画につきましては、本日、別途公表しております）

合併により新たに生まれ変わる北洋銀行は、お客様や北海道の未来を創造・リードし、当行を支えていただいているすべてのステークホルダーの皆様の信頼と期待に応え、ともに発展していく真のリーディングバンクを目指します。

この中期経営計画は合併による新銀行の最初の経営計画になりますが、新北洋銀行は平成 29 年に迎える創業 100 周年に向けた長期ビジョンとして『北海道の未来を創造するリーディングバンクを目指して』を掲げ、合併初年度を含む向こう 3 年間の経営計画として『新北洋・イノベーションプラン』を策定いたしました。

(1) 創業 100 周年に向けた長期ビジョン

『北海道の未来を創造するリーディングバンクを目指して』

(2) 新中期経営計画の名称・対象期間

名称 : 『新北洋・イノベーションプラン』

期間 : 平成 20 年 4 月～平成 23 年 3 月の 3 年間

(3) 『新北洋・イノベーションプラン』の基本コンセプト

強固な経営基盤の礎を築く変革（イノベーション）の 3 年間

長期ビジョン実現のため、強固な経営基盤に変革します。

(4) <変革（イノベーション）>への取り組み概要

変革（イノベーション）の柱・・・合併、IT 投資、BPR、人材育成

期待される成果 トップライン収益増強
 効率性および品質の向上

(5) マニフェスト

『新北洋・イノベーションプラン』では、すべてのステークホルダーの皆様に以下の4つを公約いたします。

「親切・便利・安心・迅速」

お客様志向を徹底した「親切・便利・安心・迅速」の追求

「リード・サポート」

地域社会・地域経済・地域企業を全力で「リード・サポート」

「効率化・高度化・厳格化」

経営態勢を「より効率的に・より高度に・より厳格に」

「能力UP・活力UP」

人材・組織のWアップ「能力UP・活力UP」

(6) 数値計画

	平成22年度 (中計最終年度)	平成24年度 (ご参考)
当期純利益(億円)	280億円	400億円程度
ROE(%)	7%台後半	10%程度
自己資本比率(%)	11%程度	12%程度
OHR(%)	60%程度	50%程度
道内貸出金シェア(%)	29%程度	30%程度

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があることにご留意ください。